

あなたの溢れる情熱が 21世紀の薬学を大きく飛躍させる 原動力になります



創薬化学 世界に通用する画期的新薬の開発を目指して p.5~p.9

衛生薬学 生活環境の安全確保に取り組む p.10

医療薬学 医療の最前線で活躍する「くすり」の責任者として p.11~p.12

薬学の最前線 明日の医療をめざして未知の生命科学にチャレンジ p.13~p.14

薬学とは

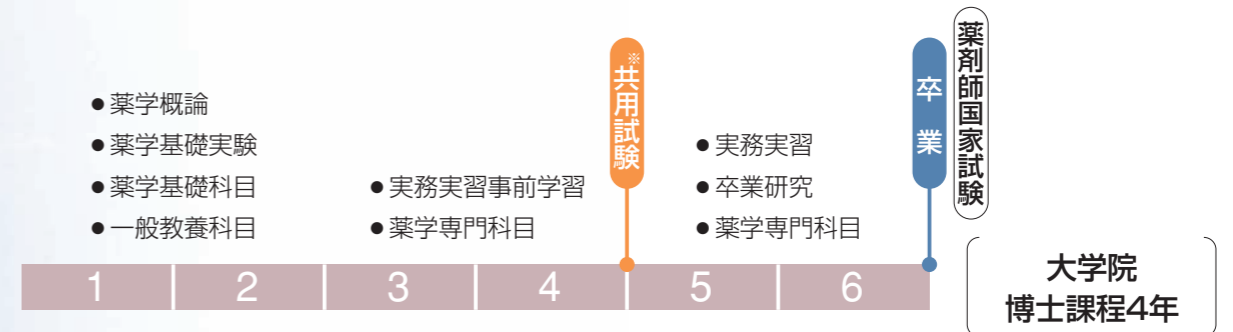
薬剤師として医療の場で重要な責務を担うだけでなく、「くすり」の開発から、生命の本質を探る基礎研究にまで関わり、化学、生物学、物理学など、自然科学における多分野で、最先端の研究を続けています。さらに、この幅広い科学的知識を背景に、医薬品関連分野にとどまらず、私たちの身近にある食品や化粧品の開発や安全性管理、環境衛生分野、医療行政にも広く関わっています。薬学は「くすり」と、その背景となる科学を通して、かけがえのない命と健康を守るため、大切な使命を果たしているのです。

薬学教育システム

2006年度からスタートした薬学部の新しい教育制度には6年制と4年制があります。高度化する医療や医薬分業の進展に伴い、さらに高い能力の薬剤師を養成するために、6年制が始まりました。一方、4年制では創薬研究者の養成を行うために、薬学基礎教育を充実させています。

6年制学科

医療現場において即戦力となる人材を育成するために、6年間のカリキュラムの中で病院や薬局などでの長期間の実務実習を行い、薬剤師ライセンス取得をめざすコース(薬学科など)

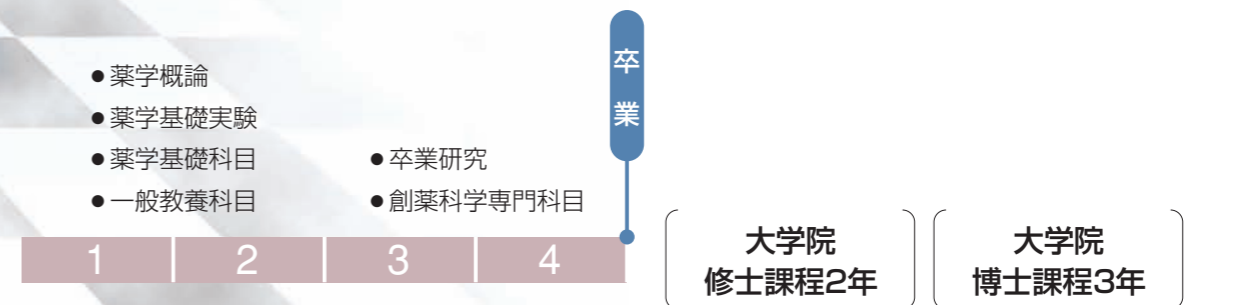


※共用試験

医療現場で実習を行う上で必要な基本知識、技能、態度を備えていることを適正に評価するために、薬系大学が協力して作成し、共に用いる試験で、基礎知識を問うコンピュータ支援基礎学力試験(CBT, Computer-Based Testing)および主に技能や態度を問う客観的臨床能力試験(OSCE, Objective Structured Clinical Examination)の2つから成ります。共用試験において基準点に満たない学生は、実務実習を行うことができません。

4年制学科

4年間、薬に関わる幅広い知識を身につけた後、大学院への進学などを通じて、薬の開発やバイオテクノロジーの研究分野などで活躍する人材を育成するためのコース(薬科学科など)



2017年度までに薬学の4年制の課程に入学し、その後、薬学の修士課程を修了した者が、一定の要件を満たす場合には、薬剤師国家試験の受験資格が与えられます。